

<報道関係各位>

【食育】白子町の特産物である「たまねぎ」の定植、収穫体験を通じてフードチェーンについて学ぶ

「白子町のたまねぎを育てて食べよう！<定植>」開催

日時：11月17日（日）10:00～15:00（少雨決行）

会場：農産物直売所「げんきの里ひまわり」及び周辺の畑（千葉県長生郡白子町）

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、白子町の特産であるたまねぎの定植・収穫を通じて「食育」を学ぶ連続企画「白子町のたまねぎを育てて食べよう！<定植>」を、11月17日（日）10時より、農産物直売所「げんきの里ひまわり」（千葉県長生郡白子町）周辺の畑で開催します。

コープみらいでは、コープみらいの食育「たべる、たいせつ」の取り組みの一環として、生産者の思いや苦勞、食べることの大切さを知っていただくため、親子で参加する産地視察や農業体験を積極的に実施しております。

本企画では、毎年、農事組合法人長生産直にご協力いただき、参加者は、たまねぎの定植（11月）、収穫（5月）を体験します。生産との交流を深める中でフードチェーンについて学ぶだけでなく、今回は台風15号、台風19号で被災した産直産地を支援したいという参加者の希望もあり、抽選にて20家族75人が参加します。



たまねぎの苗 定植の様子(昨年度)

■「白子町のたまねぎを育てて食べよう！<定植>」開催概要

日時：11月17日（日）10:00～15:00（少雨決行 ※台風や災害などにより中止の場合あり）

会場：農事組合法人 長生産直（住所：千葉県長生郡白子町北高根3633）

直売所「げんきの里ひまわり」及び周辺の畑

内容：たまねぎの定植体験、長生産野菜の試食、生産者との交流 など

参加：20家族75名（予定） ※定植に参加された方は、来年5月の「たまねぎの収穫体験」にも参加予定です。

ご取材をご希望される方は、下記連絡先までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に、事業と活動を通して貢献します。 ※詳しくはこちら<https://sustainability.coopdeli.coop/>

《生活協同組合コープみらい 概要》

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5	【総事業高】3,909億円（2018年度）
【理事長】新井 ちとせ（あらい ちとせ）	【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都
【組合員数】353万人（2019年10月20日現在）	【ホームページ】 https://mirai.coopnet.or.jp/

《報道関係の方からの取材の申し込み、お問い合わせ先》

生活協同組合コープみらい千葉県本部

参加とネットワーク推進部 岡部、鈴木（政） TEL:043-301-6681 / FAX043-301-6685

生活協同組合コープみらい

コミュニケーション推進部 鷹島、鈴木 TEL:048-839-1430 / FAX:048-839-1859